

Vol.25
魚のことわざ(23) **カレイ**
[研究紹介] 魚の繁殖生態(2)

Vol.26
魚のことわざ(24) **スズキ**
[研究紹介] 魚の繁殖生態(3)

Vol.27
魚のことわざ(25) **サヨリ**
[研究紹介] 魚の繁殖生態(4)

Vol.28
魚のことわざ(26) **ヒラメ**
[研究紹介] 魚の繁殖生態(5)

Vol.29
魚のことわざ(27) **サメ**
[研究紹介] 魚の繁殖生態(6)

Vol.30
魚のことわざ(28) **コノシロ**
[研究紹介] 魚の繁殖生態(7)

Vol.31
魚のことわざ(29) **アイナメ**
[研究紹介] CO₂が海洋生物におよぼす影響(1)

Vol.32
魚のことわざ(30) **アユ**
[研究紹介] CO₂が海洋生物におよぼす影響(2)

Vol.33
魚のことわざ(31) **アナゴ**
[研究紹介] 飼育生物こぼれ話(アイゴ)

Vol.34
魚のことわざ(32) **カサゴ**
[研究紹介] 飼育生物こぼれ話(シロギス)

Vol.35
魚のことわざ(33) **カワハギ**
[研究紹介] 飼育生物こぼれ話(カタクチイワシ)

Vol.36
魚のことわざ(34) **イサキ**
[研究紹介] 飼育生物こぼれ話(クロアワビとサザエ)

Vol.37
魚のことわざ(35) **カマス**
[研究紹介] 飼育生物こぼれ話(オニオコゼ)

Vol.38
魚のことわざ(36) **ブリ**
[研究紹介] 飼育こぼれ話(シオミズツボワムシ)

Vol.39
魚のことわざ(37) **ニシン**
[研究紹介] 飼育こぼれ話(テトラセルミス、パプロバ)

Vol.40
魚のことわざ(38) **スルメイカ**
[研究紹介] 調査航海こぼれ話(発光するプランクトン)

Vol.41
魚のことわざ(39) **カツオ**
[研究紹介] 調査航海こぼれ話(深海からの珍客)

Vol.42
魚のことわざ(40) **エビ**
[研究紹介] 調査航海こぼれ話(銚子沖の太夫)

Vol.43
魚のことわざ(41) **メバル**
[研究紹介] 調査航海こぼれ話(怪獣(海獣)出現?!)

Vol.44
魚のことわざ(42) **アワビ**
[研究紹介] 調査航海こぼれ話(深海に眠る小さなメッセンジャー)

Vol.45
魚のことわざ(43) **マグロ**
[研究紹介] クラゲはどんな生き物

Vol.46
魚のことわざ(44) **フグ**
[研究紹介] CO₂が海洋生物に及ぼす影響(1)

Vol.47
魚のことわざ(45) **タイ**
[研究紹介] CO₂が海洋生物に及ぼす影響(2)

Vol.48
魚のことわざ(46) **シジミ**
[研究紹介] CO₂が海洋生物に及ぼす影響(3)

Vol.49
魚のことわざ(47) **タコ**
[研究紹介] CO₂が海洋生物に及ぼす影響(4)

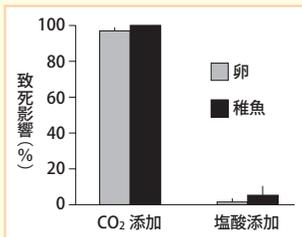
Vol.50
魚名の由来(3) **電にちなむ魚たち**
[研究紹介] CO₂が海洋生物に及ぼす影響(5)

CO₂が海洋生物に及ぼす影響(5)

海洋酸性化は、大気中のCO₂濃度が増加し、増加したCO₂が海に溶けこみ、化学反応により海水のpHが下がることを意味します。海洋酸性化を水槽内で模擬して、海の生物への影響を調べるにはどのようにするのでしょうか。

海水のpHを下げるにはCO₂を加えることのほか、塩酸や硫酸などの「強酸」を加えてもpHを下げるすることができます。しかし生物にとっては、CO₂でpHを下げた時と塩酸などの強酸でpHを下げた時では、大きな差があります。通常の海水のpHは8.1程度ですが、海水のpHが5.9になるようCO₂あるいは塩酸を加えそれぞれの水槽の中にマダイの卵と仔魚を入れると、卵も仔魚もCO₂でpHを下げた方で影響が大きく出ました。この例ではpHを極端に低く設定してみた例ですが、海洋酸性化を模擬する実験では自然界と同じく、CO₂を使ってpHを調節する必要があります。

(事務局 研究企画グループ 吉川貴志)



(Kikkawa et al. 2003より改変)

CO₂あるいは塩酸を添加してpHを5.9に調節した海水にマダイの卵と稚魚を24時間収容した時の致死影響(死亡率)の比較

財団法人海洋生物環境研究所は、発電所の取放水等が海の環境やそこに生息する生物に与える影響を科学的に解明する中立的な調査研究機関として、農林水産省、経済産業省、環境省の共管のもと、昭和50年に設立されました。

これまで大規模発電所の取放水が生物に及ぼす影響の解明を中心に、食の安全・安心や海生生物の保護に係わる海洋環境中の微量化学物質や放射能の実態把握等の調査研究を国や民間からの委託を受けて実施しております。

海の豆知識 第50号

平成24年1月 発行

発行所

財団法人 海洋生物環境研究所

事務局 〒162-0801 東京都新宿区山吹町347 藤和江戸川橋ビル7階 ☎(03) 5225-1161
中央研究所 〒299-5105 千葉県夷隅郡御宿町岩和田300 ☎(0470) 68-5111
実証試験場 〒945-0017 新潟県柏崎市荒浜4-7-17 ☎(0257) 24-8300

海の豆知識に関するお問い合わせは、事務局までお願いします。

<ホームページ> <http://www.kaiseiken.or.jp/>

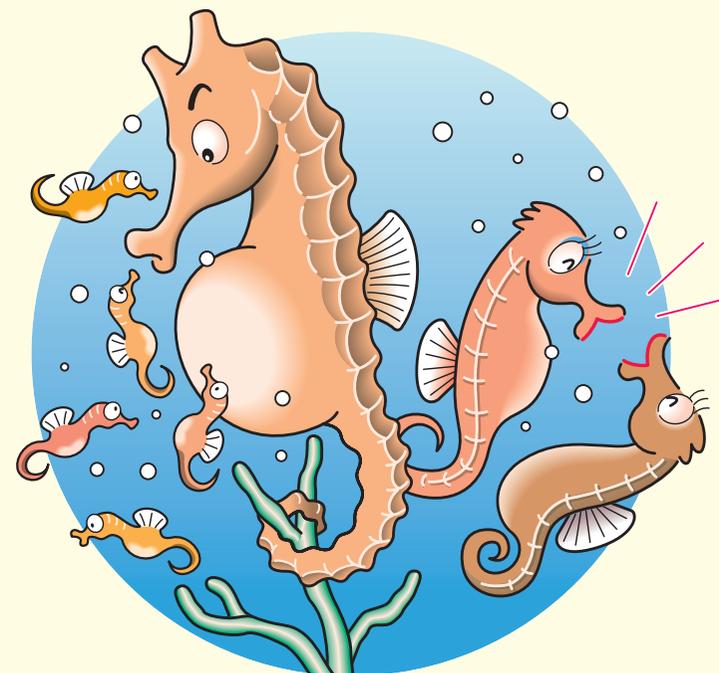
(ご自由にお持ちください)

かいせいけん

海の豆知識

Vol.50

★★★ 魚名の由来 ★★★
〈その3〉



財団法人 海洋生物環境研究所

魚名の由来

(その3)

竜にちなむ魚たち

海とその生物にまつわる名前の由来についてお話ししましょう。
今回は、本誌の第50号を記念して、今年の干支である辰、竜(龍)にちなんだ魚をご紹介します。

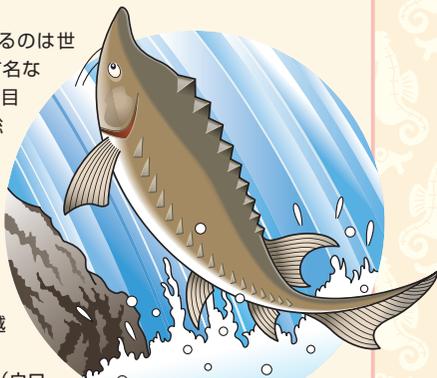
まず、皆さんが思い浮かべるのはタツノオトシゴ(トゲウオ目ヨウジウオ科タツノオトシゴ属に分類される魚の総称、英名: Seahorse)ではないでしょうか。

外見が想像上の動物である竜によく似ているため、「竜の落とし子」と言いますが、英名が示すとおり、馬の顔にも似ており、日本でもウミウマ、ウマノカオなどと呼ぶところがあります。

この魚は主に熱帯・温帯沿岸の浅瀬の海に生息し、海藻に尾を巻きつけ、直立して泳ぐ、いささか魚離れしたユーモラスな姿が印象的です。しかも、メスの生み付けた卵をオスがお腹の袋(育児嚢)で育て、苦労して親とそっくりな仔魚を「出産」します。竜に似合わぬやさしいイクメンパパ振りではありませんか。

なお、近縁種にはタツノイトコ、タツノハトコなどという魚がいます。

さて、次にご紹介するのは世界の珍味キャビアで有名なチョウザメ(チョウザメ目チョウザメ科の魚の総称、英名: Sturgeon)です。この仲間は、北半球の北回帰線以北に広く生息しています。体重1.5t以上、体長5メートル以上にも及び、寿命も150年を越える大型の種もいます。



名前は体表の硬い鱗(ウロコ)が蝶の羽の形で、姿がサメに似ていることに由来しますが、サメの仲間ではありません。淡水産と海産がありますが、海産はサケのように産卵のため、生まれ故郷の川を遡ります。

世間では、困難な局面を突破すれば立身出世ができる関門のことを「登竜門」と言います。

この中国の故事の元となったのが、黄河上流の難所である急流(竜門)を上るチョウザメの姿であったとの伝承です。よって、「竜魚」、また、「生きた化石」とも呼ばれます。

ちなみに「滝」という字にもちゃんと「竜」が入っています。

しかし、その後どういう訳か、いつしかチョウザメがコイに主役の座を譲り渡し、やがて日本では江戸時代以降に、庶民の間で「鯉のぼり」の風習が広がりました。

竜に関する諺や格言

1 「竜を画いて睛を点ず」

わずかな文句や物事を補うことで、全体が引き立ち活気づくこと。また、肝心なところに手を加えて、物事を完全なものにすること。いわゆる「画竜点睛」。

中国の張という優れた絵師が、壁画の竜に瞳を描き入れたところ、雷鳴電光と共に昇天したとの故事による。

2 「雲は竜に従い、虎は風に従う」

気質や性格を同じくする者は、お互いに引き付け合うこと。また、立派な君主の元には、立派な賢臣が出て君主を助けること。

3 「逆鱗に触れる」

目上の人などの触れてはならないことに触れ、相手の怒りを買うこと。逆鱗とは竜のあごの下に1枚だけある逆さに生えた鱗のこと。竜はこれに触れると激高し、触れた者を即座に殺すと言われる。

4 「蛟竜雲雨を得ば、ついに池中の物に非ず」

池の中に潜む竜は魚とは違い、いつか時機を得ればそこを抜け出し、雲を呼んで天に昇るということから、英雄は機会をつかめば必ず世に現れることをいう。中国の三国時代に呉の周瑜が蜀の劉備を評して言った言葉。

5 「竜虎相搏つ」

天空を翔る竜と、地で吠える虎との最強の戦い、すなわち実力が伯仲した優劣つけがたい強豪同士の対決のこと。

おかげさまで
50号
since
1999

「かいせいけん海の豆知識」は、愛読者の皆様のご支援のお陰を持ちまして、創刊第50回記念号を発行することができました。以下のバックナンバーは、海生研のホームページ <http://www.kaiseiken.or.jp/> から簡単にダウンロードすることができますので、是非ご利用ください。
なお、今後の本誌の発行にも、どうぞご期待ください。



Vol.1
魚名の由来(1) **マダイ**
[研究紹介] 魚の好む水温(1)



Vol.2
魚のことわざ(1) **タコ**
[研究紹介] 魚の好む水温(2)



Vol.3
魚のことわざ(2) **イワシ**
[研究紹介] 魚の好む水温(3)



Vol.4
魚のことわざ(3) **カツオ**
[研究紹介] 魚の好む水温(4)



Vol.5
魚のことわざ(4) **シロサケ**
[研究紹介] 魚の游泳能力と温度(1)



Vol.6
魚のことわざ(5) **フグ**
[研究紹介] 魚の游泳能力と温度(2)



Vol.7
魚のことわざ(6) **イカ**
[研究紹介] 水温と海藻類の成長(1)



Vol.8
魚のことわざ(7) **ハモ**
[研究紹介] 水温と海藻類の成長(2)



Vol.9
魚のことわざ(8) **ハゼ**
[研究紹介] 水温と海藻類の成長(3)



Vol.10
魚のことわざ(9) **アンコウ**
[研究紹介] 水温と海藻類の成長(4)



Vol.11
魚のことわざ(10) **タイ**
[研究紹介] 貝類の温度耐性(1)



Vol.12
魚のことわざ(11) **アジ**
[研究紹介] 貝類の温度耐性(2)



Vol.13
魚のことわざ(12) **サンマ**
[研究紹介] 貝類の温度耐性(3)



Vol.14
魚のことわざ(13) **ボラ**
[研究紹介] 貝類の温度耐性(4)



Vol.15
魚のことわざ(14) **キス**
[研究紹介] 魚の受精卵の温度耐性(1)



Vol.16
魚のことわざ(15) **ウナギ**
[研究紹介] 魚の受精卵の温度耐性(2)



Vol.17
魚のことわざ(16) **カニ**
[研究紹介] 魚の受精卵の温度耐性(3)



Vol.18
魚のことわざ(17) **ブリ**
[研究紹介] 温排水に集まる魚(1)



Vol.19
魚のことわざ(18) **ニシン**
[研究紹介] 温排水に集まる魚(2)



Vol.20
魚のことわざ(19) **コチ**
[研究紹介] 実験魚を育てる(1)



Vol.21
魚のことわざ(20) **サバ**
[研究紹介] 実験魚を育てる(2)



Vol.22
魚のことわざ(21) **タラ**
[研究紹介] 実験魚を育てる(3)



Vol.23
魚名の由来(2) **イカナゴ**
[研究紹介] 実験魚を育てる(4)



Vol.24
魚のことわざ(22) **トビウオ**
[研究紹介] 魚の繁殖生態(1)